

人との触れ合い激減の今

【細】 コミュニケーションスキルを養う教育プログラムの積極的導入が必要ではないか？
【教】 好ましい人間関係やよりよい集団生活を形成するスキルは、教育総合研究所で研修を実施。（『ポジティブ教育』など）

性被害・犯罪低年齢化の今

【細】 「自分の身を守るプログラム」や、「犯罪を犯したらどうなるか」ということを、学校の特別活動などで学べないか。
【教】 小中高校では、警察と連携し、不審者に遭遇したときの助けの求め方や護身術等を学んでいる。
今後、現場の教員が「犯罪を犯したらどうなるのか」という、生徒への説明に使えるリーフレットを作成してまいる。

和紙産地苦境の今

【細】 県立学校の卒業証書では、どのくらい県産和紙を使っているのか？
県内小中学校などにも推奨できないか？
【教】 県立学校は約9割、小中学校は8市町が使用。越前市は小学校が使用。県立学校や市町に更なる使用を推奨してまいりたい。

細川かをり県政報告

第56号

9月定例議会が終わり、議場に設けられた隣りの席との「感染防止間仕切り」にもようやく慣れ、引き続きの決算議会が始まりました。あの暑かった夏や残暑は「へや」の間の間にか肌寒くなり、蒸し暑いと感じていたマスクがむしろ、ありがたい保温装備となりました。秋真つただ中です。皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

【ポイントを押さえた対策】が行われ、人の交流も少しずつ戻ってきている感があります。ただし、元に戻るといよりは、感染防止を心掛けた「新しい生活様式」にシフトチェンジしつつです。

それにしても、人間、人と人との関わりが大事で、長時間一人でいると気が滅入ってしまいます。コロナウイルスは、結果的に人の最も弱いところを突いたことになるのかも…。特にご年配の方は、ずっと家に閉じこもると、健康への悪影響（フレイル（虚弱））が進みます。歩行機会が失われ、筋肉が落ちます。人とのつながりが希薄になると、認知機能が著しく低下する恐れがあります。今議会、まずその気になるフレイルの対策について質問しました。

フレイル対策

① フレイルとは、健康から要介護へ移行する中間の段階で、だんだん虚弱になっていくことです。「動かないこと（生活不活発）」でいると、身体や頭の働きの低下がさらに進行してしまいます。



② フレイルは大まかに
・身体的な衰え
・心・認知の虚弱
・社会性の低下
です。

コロナ自粛は必要ですが、フレイルを進展させる心配が…



県内の「フレイル対策」の現状とこれまでの取り組み・成果は？

平成29年度から東京大学と共同研究を行っており、フレイルチェックと予防活動を合わせた「フレイル予防プログラム」の導入を進めているところ。
また、フレイル予防のサポーターを県内で470名養成した。全国では1600名なので、福井県は全国の4分の1を超えているという状況★
これは、健康長寿のための活動なので、これから徐々に浸透させていきます！

今年度は、さらに、感染症対策を講じたマニュアルを設けて、「コロナ禍でのフレイル予防スタンダード」を福井県から発信します！



期待して新〜☆
ほおっておくと怖いけど改善します！ポイントは、**運動・栄養** **社会参加(人との関わり)** です♡

県政報告会

10月22日(木)
時間 午前10時～
場所 コミュニティセンター村国
村国1丁目75-44

細川かをり県政報告 R2.10
発行：福井県議会議員 細川かをり
事務所：越前市村国1丁目2-11
TEL・FAX 42-5888

「子どもたちは常に『離れて、離れて』と指示され、楽しいはずの給食時間も離れて全員が前を向いて黙々と食べる」
といった学校生活の状況。さらに、「特に最高学年は、行事縮小で『やり切った感』がなくてかわいそうだ」という現場の声を聴くと、心配でなりません。成長途中の在り様は、本当に、大人になってからの人となりに深く大きく影響するからです。
以上のことから、前回に引き続き、「コロナ禍の子供たち」について教育委員会に質問した次第です。
子どもたちには「この逆境を乗り越え豊かに成長してほしい…私の心配が、杞憂に終わってほしいと願うばかりです。」

終わりに
○ 近年の子どもたちに必要なことは「人と関わる経験を持たせる」ことです。昔は、大勢の友達や兄弟と活発に遊べたので、自己肯定感やコミュニケーション能力などは自然と身につきました。今は、意図的に養わねばならないというのが、私の教員当時から強い持論です。
それなのに、「このコロナ禍で、『ソーシャルディスタンス』と友達との距離をとることが求められ、飛沫防止マスクで口元を隠すのでお互いの表情が見え辛くなり、人と関わる活動が大きく制限されてしまっています。」
刑法法令に触れる行為をした場合、14歳未満では、児童福祉法により児童自立支援施設などに収容といった虞犯少年の扱いですが、14歳以上20歳未満は、家庭裁判所の審判の対象になる犯罪少年という扱いとなります。

お目にかかって直接お声を伺いたいと切望しています。でももし「感染注意報」が発令されていたら、急遽中止させていただきます。ご理解のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

地元理解

細 何事も、決まってから「説明を受けるだけ」では、福井として、心配されるようなことを後から言う形になってしまうので、**途中で要望を上げていくべきだ。**

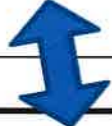
結 後日、「詳細設計に入る前など節目節目に、事前に地元丁寧に説明し、理解を得てほしい」と、文科省審議官に求められました。

耐震基準

細 今回の研究炉にしても、今ある発電所にしても、地震・地勢など最新の知見を取り入れ、原子炉の耐震基準を決めるべきであり、国に強く求めるべき

知事 新たな知見に基づく、ひずみの関係は、私も科学的に、興味深く話を聞かせていただいた。

県として、今後も、規制委員会に対し発電所の安全性向上のために、最新の知見に基づいて、原子力規制のより一層の充実・強化に努めていくよう強く国に対して求めています。



責任

細 かつて、高速増殖炉もんじゅでは、『ナトリウム漏れ事故は、メーカーに任せた温度計の設計のせい』、『炉内中継装置事故時も、メーカーに任せたネジのせい』とされた。だから私は原子力機構に対し、『もんじゅのプラント設計が、いくつものメーカーに分割・丸投げされていた』点を質したことがある。その際、機構理事は、「性能保証一括でメーカーに全て任せることは、原子力機構としても反省している。」

「炉内中継装置であればネジ1つ、温度計であれば加工の仕方、形状1つで大きな事故につながる。」
 「我々自身が技術力をあげ、しっかりと管理していく必要がある。全て任せるといやり方は良くないと思っており、今回の指摘については非常に重く受け止めている。」

と言われたが、結局、廃炉となった。
 繊細で複雑・危険性の大きいプラントだからこそ、どこかがしっかりと総合責任を持つべきだ。

結 県はこの旨を文科省審議官に伝え、「責任の所在があいまいにならないよう、施設の細部までしっかり安全対策が進むよう、検討を進めていく。」との言質をもらっています。

原子力試験研究炉

安全性

細 多くの研究炉が新規規制基準に耐えられず廃止になっている中、新しい研究炉ならば安全性は確保されるのか？

県 現在、国において炉型の絞り込み等を行っている段階。今後、概念設計と令和4年度から開始される詳細設計を経た上で、原子力規制委員会が新規規制基準に基づき、安全性に関する厳正な審査を行うことになる。

使用済核燃料

細 商業炉などの使用済核燃料の貯蔵・処理処分に困っている状態の中、さらに研究炉の使用済核燃料が排出されることになる。

県 これまでの発電プラントと同様、使用済核燃料が本県に留まることがないように、国に求める。

結 この後、副知事は文科省審議会との面談で、「使用済み核燃料が本県に留まることがないように、処理処分の方法を明確に。」と求めました。

平成28年、原子力関係閣僚会議で、「もんじゅサイトに新たな試験研究炉を設置し、今後の原子力研究や人材育成を支える基盤となる中核的拠点となるよう位置付ける」と決定しました。そして、先月、有識者会議が「京大研究炉が将来的な運転困難なため、その機能を発展的にとらえる炉。最も広く利用でき、産学分野への発展が期待できる炉型。」といった理由から、「もんじゅの敷地の高台に、中性子線などを利用した中出力炉の試験研究炉をつくる方針をまとめた」との報道がなされたので、それについて正しました。

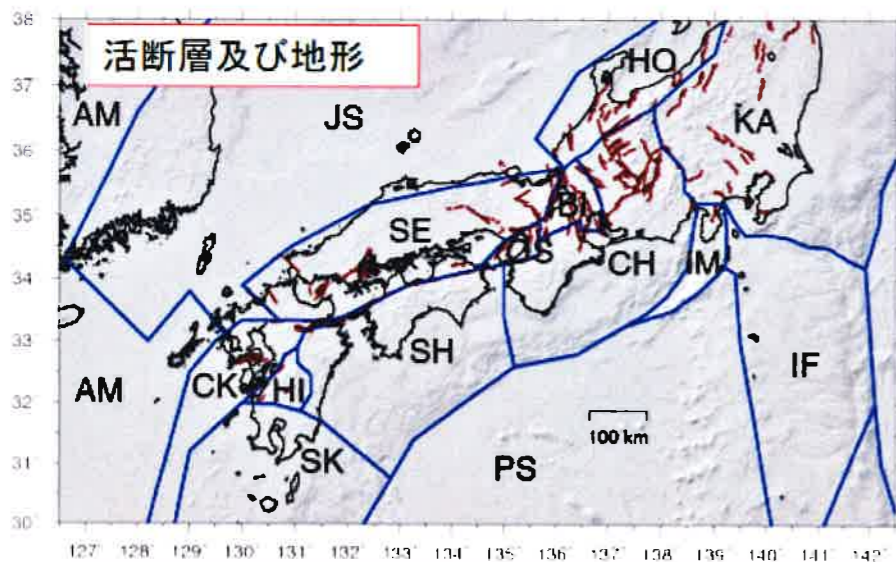
9月4日の地震(福井県)の震度



(日本気象協会 HP より)

地震の話：地殻構造

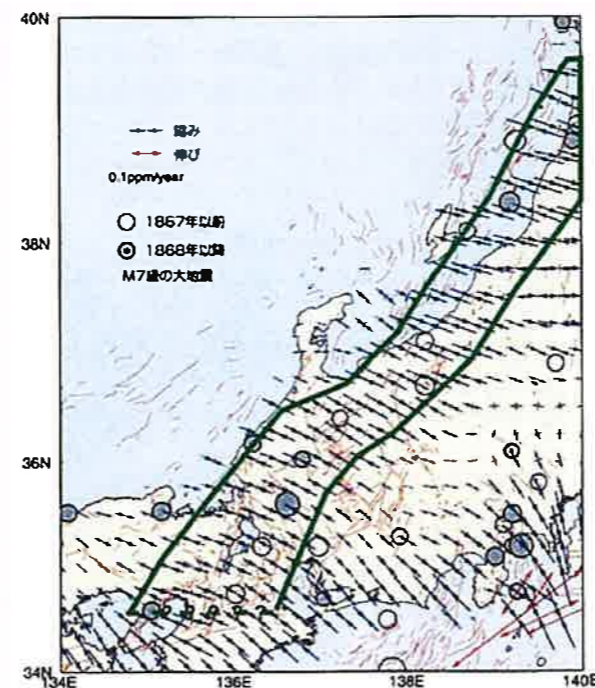
地盤の割れ目(ブロック)



京都大学防災研究所地震予知研究センター 西村卓也准教授 資料より

③さらに、従来「2つだけ」と考えられてきた陸側のプレートは「実際は、より細かくブロックに分かれていて、その境界で地震が発生し、ひずみも集中する」というのが最新の知見です。

新潟～神戸に延びる「ひずみ集中帯」 鷲谷(2001)より



地震調査研究推進本部地震調査委員会,2009)より

②電子基準点のデータから、列島内陸の顕著なひずみ集中帯として初めに発見されたのが「新潟～神戸ひずみ集中帯」です。幅100キロで、福井県はほぼこれに入ります。ひずみ集中帯では内陸地震が多く発生します。

電子基準点



池田町にある電子基準点。(池田町B&G海洋センター) 県内は他に、湯尾小学校など16か所にあります。

①近年、国土地理院が電子基準点を使ったGPS(衛星測位)観測を行い、現在の日本列島の地殻変動を、ミリ単位で観測できるようになりました。